

平成 23 年度事業計画書

I. 研究者交流事業

1. ニュースレター (JSPS Quarterly) 作成業務

((独)日本学術振興会から受託)

昨年度で終了した受託事業 J S P S フェローシップのうちの一部であり日本の学術研究の動向及び日本学術振興会の事業の最新情報等を外部に向けて定期的に発信する英文ニュースレター (季刊) の作成を行う。

2. 理工系大学院生研究交流事業の運営

((財)日韓産業技術協力財団から受託)

日韓両国の産業技術協力を促進するための次世代人材育成計画の一環として、平成 5 年度より韓国の大学院生 (修士或いは博士課程) を 1~2 月に日本の独立行政法人、国立研究機関等へ招へいし、専門分野の研究研修を 7 週間程度行う「Winter Institute」を実施している。

また、両国の交流をさらに強化発展させるために、平成 20 年度からは、日本の大学院生を 7~9 月に韓国に派遣して、韓国の大学、研究機関で専門分野の研究研修を 7 週間程度行う「Summer Institute」を実施している。

この事業の目的は、日本と韓国との研究交流のきっかけ作りとその維持、強化を図ることにある。日韓産業技術交流を促進するための人的ネットワークを構築し、両国の産業技術力が向上することを期待している。

本事業は、外務省の支援のもと、日韓文化交流基金からの業務委託により日韓産業技術協力財団が主催し、韓国科学財団および韓日産業技術協力財団の協力を得て JISTEC が企画・運営を行う。平成 23 年度の招へい者数は 40 名、派遣者数は 5 名の予定である。

II. 研究者支援事業

1. 外国人研究者生活立ち上げ等支援業務

1) ((独)物質・材料研究機構から受託)

物質・材料研究機構の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等の業務を行う。

2) (東京大学から受託)

東京大学柏地区数物連携宇宙研究機構の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等の業務を行う。

2. 外国人研究者用宿舎の管理運営に関する業務

(独)科学技術振興機構から受託)

筑波研究学園都市の独立行政法人等で研究に従事する外国人研究者及びその家族のための宿舎(二の宮ハウス・竹園ハウス)の管理運営を行うとともに、居住者に対する交流促進や生活支援を行う。

3-1. 「国際ナノアーキテクトゥクス研究拠点」日本文化研修業務

(独)物質・材料研究機構から受託)

国際ナノアーキテクトゥクス研究拠点に着任した外国人研究員の日本における生活、ひいては物質・材料研究機構における研究活動を円滑なものにすることを目的として、日本理解のための日本文化研修を行う。

3-2. 「国際ナノアーキテクトゥクス研究拠点」日本語研修業務

(独)物質・材料研究機構から受託)

国際ナノアーキテクトゥクス研究拠点に着任した外国人研究員が、物質・材料研究機構で研究を行うのに必要な基礎的な日本語の習得のための日本語研修を行う。

4. 国際共同研究推進のための研究者受入促進・ネットワーク強化に係る

調査研究

(文部科学省から受託)

科学技術・学術分野における国際活動の戦略的推進策として重要と指摘されている国際的研究人材の養成・確保のために、優秀な外国人研究者を我が国に惹き付け、外国人研究者との交流、協力、競争が日常的に行われ、我が国の大学等研究機関において学問及び知的財産として高い研究成果を生み出すことができるようにするため、アジア諸国からの外国人研究者受入環境の整備について調査研究を行う。

5. 外国籍研究者及び海外留学日本籍研究者の日本における位置付けに関する

調査研究

(財)新技術振興渡辺記念会調査研究助成)

科学技術外交における優秀な科学技術人材の世界的獲得大競争に勝利することを目標とし、優秀な外国籍研究者及び優秀な海外留学日本籍研究者の日本での研究における位置づけを明確にして、これらの研究者を戦略的に日本に受入れ、日本での研究において存分に活躍できるようにする政策策定に資することを目的とする。

6. 外国人研究者の生活支援及び住宅支援における法的問題の調査研究

(財)新技術振興渡辺記念会調査研究助成)

新成長戦略に基づく外国人研究者の10年間3倍増政策に対応し、我が国研究機関における外国人研究者の生活支援、及び特にその中で重要な住宅確保のための供給情報システムの提供における法的問題を調査研究する。

III. 科学技術議員等国際交流基金運営事業

S T S フォーラムの開催に向けた世界各国の国会議員等への参加・協力要請を含めた諸準備の活動並びに2カ国間等個別の交流への支援を行う。

IV. S T S フォーラム開催の支援事業

S T S フォーラム第8回年次総会は、特定非営利活動法人S T S フォーラムの主催で、平成23年10月2日～4日に国立京都国際会館で開催される。共催団体としてその開催を支援する。

V. 芦田基金運営事業

芦田基金の趣旨に沿って、講演会、ワークショップ等を開催するとともに、必要な助成事業を行う。

VI. 自主事業

1. 講演会の開催

会員にとって関心の高いテーマを選定し、「科学技術・文化交流サロン」等の講演会を開催する。

2. 会報 (JISTEC Report) 等の発行

当センターの活動等を会員に報告するため、「会報」(JISTEC Report)及び「JISTEC TOPICS」を発行する。

3. ホームページによる情報の提供

ホームページにより、外国人研究者の日本受入れ促進に資する情報、日本滞在における生活支援情報及び外国人宿舎情報等を提供する。